西海学園高等学校年間学習指導計画

科目: 数学Ⅱ	単位数	3+2単位(160時間)
数学 C	学年・学級	第3学年4組 特別進学コース 文系
使用教科書,副教材等 数学Ⅱ Advanced (東書)・数学 C Advanced (東書)		

1 学習の到達目標

・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)積分、ベクトルの考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元(教材)名	学習のねらい	主な学習活動
1	4	3節 積分	微分法の逆演算として不	・不定積分及び定積分の意味について理
		1 不定積分	定積分を理解し, 定数倍,	解し, 関数の定数倍, 和及び差の不定積
			和・差の不定積分について	分や定積分の値を求めることができる。
			考察したり,簡単な関数の	
			不定積分を求めたりする	
			ことができる。	
		2 定積分	定積分の定義を理解し,定	・事象を微分・積分の考えを用いて考察す
			数倍,和・差の定積分の値	るよさを認識し,問題解決にそれらを活
			を求めたり,定積分の性質	用しようとしたり,粘り強く考え数学的
			について考察したりする	論拠に基づき判断しようとしたりして
			ことができる。また, 定積	いる。
			分と微分の関係について	
			理解する。	
	5	3 定積分と面積	定積分の図形的な意味を	・微分と積分の関係に着目し, 積分の考え
			理解し,曲線や直線で囲ま	を用いて直線や関数のグラフで囲まれ
			れた図形の面積を定積分	た図形の面積を求める方法について考
			を利用して求めることが	察することができる。
			できる。	
	6	1 章ベクトル	ベクトルの意味, 相等など	・平面上のベクトルの意味, 相等, 和, 差,
		1節平面上のべ	について理解する。	実数倍, 位置ベクトル, ベクトルの成分
		クトル		表示について理解している。
		1ベクトルの意		
		味		

学期	月	単元(教材)名	学習のねらい	主な学習活動
		2 ベクトルの	ベクトルの和,差,実数倍,	・実数などの演算の法則と関連付けて,ベ
		加法・減法・実数	平行,分解について理解	クトルの演算法則を考察することがで
		倍	し, それらを図示したり求	きる。
			めたりすることができる。	
			また,多項式の演算法則と	
			関連付けて,ベクトルの演	
			算法則を考察することが	
			できる。	
	7	3 ベクトルの	ベクトルの成分表示につ	・事象をベクトルの考えを用いて考察す
		成分	いて理解し, 演算, 分解,	るよさを認識し、問題解決にそれらを
			平行についての問題を成	活用しようとしたり、粘り強く考え数
			分表示を利用して解くこ	学的論拠に基づき判断しようとしたり
			とができる。	している。
		4 ベクトルの	ベクトルの内積及びその	・ベクトルの内積及びその基本的な性質
		内積	基本的な性質について理	について理解している。
			解し,様々な場面に応用す	
			ることができる。	
	8	2節 ベクトル	位置ベクトルについて理	・ベクトルやその内積の基本的な性質な
		の応用	解し,点の位置や図形の性	どを用いて,平面図形や空間図形の性質
		1 位置ベクト	質について考察すること	を見いだしたり,多面的に考察したりす
		ル	ができる。	ることができる。
		2 ベクトル方	ベクトル方程式について	・座標及びベクトルの考えが平面から空
		程式	理解する。また,条件を満	間に拡張できることを理解している。
			たす点の存在範囲などに	
			ついて考察することがで	
			きる。	
2	9	3節 空間にお	空間の座標について理解	・数量や図形及びそれらの関係に着目し、
		けるベクトル	し,2点間の距離,座標平	日常の事象や社会の事象などを数学的
		1 空間におけ	面に平行な平面の方程式	に捉え,ベクトルやその内積の考えを問
		る座標	を求めることができる。	題解決に活用することができる。
		2 空間におけ	空間におけるベクトルの	・問題解決の過程を振り返って考察を深
		るベクトル	意味や演算,内積などにつ	めたり、評価・改善したりしようとして
			いて,平面の場合と関連付	いる。
			けながら理解する。	
		3 位置ベクト	空間における位置ベクト	・問題解決の過程を振り返って考察を深
		ルと空間図形	ルについて理解し、空間	めたり、評価・改善したりしようとして
			図形の考察に応用するこ	いる。
			とができる。	

学期	月	単元(教材)名	学習のねらい	主な学習活動
2	1	共通テスト対策	共通テストの過去問題や	志望校の過去問題に触れ、解法がきちんと
	0	私大入試対策	模擬試験による傾向と対	した記述で書けるようにする。
		2次入試対策	策を理解する。	
	1	共通テスト対策	共通テストの過去問題や	志望校の過去問題に触れ、解法がきちんと
	1	私大入試対策	模擬試験による傾向と対	した記述で書けるようにする。
		2次入試対策	策を理解する。	
	1	共通テスト対策	共通テストの過去問題や	志望校の過去問題に触れ、解法がきちんと
	2	私大入試対策	模擬試験による傾向と対	した記述で書けるようにする。
		2次入試対策	策を理解する。	
3	1	共通テスト対策	共通テストの過去問題や	志望校の過去問題に触れ、解法がきちんと
		私大入試対策	模擬試験による傾向と対	した記述で書けるようにする。
		2次入試対策	策を理解する。	
		_		